

「2022年ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校スプリングスクール」

京都大学工学部1年 田川 綾穂

- ① 今回のプログラムで、海外で英語を使う経験をしたことや日本語を熱心に勉強されている現地の学生さんたちと交流したことで、大学での言語学習に対する意欲が高まった。もちろん英語ももっと勉強しリスニング力をつける必要があると感じたが、特に英語以外の第二外国語に対する意欲が高まった。なぜなら当初の予想ほど英語が伝わらず、現地で仕事をするなら、英語に加えて現地の言語も必要だと改めて思ったからだ。他にも、相手の国の文化に対してもしっかりと知識が必要だと思った。留学に対しては、私は今まで海外に行ったことがなかったので様々な不安があった。しかし、みんなと短い期間行くことで、その不安をぬぐいきれ、次は長期の留学もしたいと思うようになった。
- ② 海外では当然嫌なことも多く経験した。正直に言うともあまり料理は私に合わなかったし、ホテルには虫が多くかった。しかし、初日に比べて最終日はずいぶんとパクチーの味に慣れていろんなものが食べられたし、虫もそこまで気にならなくなった。これからどこにいても、最初は日本に帰りたくなるかもしれないが、いつか慣れるということを実感できたので、将来海外で働き始める際の不安を減らすよい経験になったと思う。
- ③ プログラム内容として、現地での日本語の授業はよかった。自分でも気づいていない日本語のことについていろいろと気づけた。他にも、私は『映像の世紀』を観てから、ベトナムの歴史に興味があったので、歴史について学べたのはよかったと思う。日本語とベトナム語のほかに、ベトナムの法律、歴史、観光についても学べるプログラムで、遠足のようなフィールドトリップもありとても楽しく、すばらしいプログラム内容だったと思う。
- ④ 進路への影響はそこまでないと思う。もとの外交官になりたいという決意は変わらなかった。ただ、今回のプログラムを通して、言語学習への意欲が高まり、もっと頑張りたいと思うようになった。私がベトナムを選んだ理由の一つが、ベトナムでは年配の方なら、私の第二外国語がつうじるときいていたからだが、使う機会はなかった。しかし、革命博物館の最初の方は十月革命についての展示で、その展示物に書いてある文字を読み取ることができたのは日ごろの勉強の成果が出たようでうれしかった。このようなちょっとしたできごとでも言語学習のモチベーションにつながり、ひいては将来の夢というおおきなことにつながっていくかもしれないので、プログラム外で自分の興味に従った自由行動の時間は非常に大切だと思った。